

出産後の子育てを安心サポート

産後ケア事業をご利用ください

問 健康増進課（保健福祉センター内） ☎25 - 2100

産後ケア事業って？

市では出産後のお母さんの育児不安や負担を軽減するために、自宅への訪問や施設で産後のサポートをしています。



1

申請する

健康増進課窓口か郵送で申請書を市に提出。出産後すぐに申請できます。

必要なものは、申請書（市のホームページからもダウンロードできます）、母子健康手帳、印鑑

2

面接を受ける

窓口で申請の方は窓口で、郵送の方は電話で対応します。

3

決定通知を受け取る

産後ケアの利用承認決定通知と、産後ケア利用カードを郵送します。

令和2年4月から 宿泊型が増えました！

	訪問型	通所型	宿泊型
ケアの内容	<ul style="list-style-type: none"> ■乳房ケア ■授乳指導 ■育児相談 など <small>※助産師が自宅を訪問します。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■お母さんのケア ■お子さんのケア ■食事の提供（1回） ■育児サポート など <small>※委託施設でご利用いただけます。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■お母さんのケア ■お子さんのケア ■食事の提供（3回） ■育児サポート など <small>※委託施設でご利用いただけます。</small>
自己負担額	1,000 円	2,000 円	1泊2日 5,000 円
回数	あわせて5回まで		

4

予約をする

利用したい施設に予約を入れましょう！

「水発電機 ENECTRON」1台を寄贈いただきました。

ENECTRONは、塩水を注入することで、約80時間発電し、携帯電話に換算すると600台分の充電が可能となります。塩水を使うため発電時の排ガスもなく、音も静かなため、室内でも使用することができます。災害時には、停電によるライフラインの停止



水発電機を寄贈いただきました

問 伊奈庁舎防災課 ☎58 - 2111（内線2502）

が想定され、避難生活に必要な照明の確保や、携帯電話の充電など、大いに活用が期待できます。



水発電機を手渡す千葉卓弥代表取締役社長と小田川市長



手作りのお面やマント、ベルトを身に付けてうれしそうなお子どもたちとママ

10月から各子育て支援室で、感染症対策をしながらイベントを再開しています。おひさま出張支援室「ばんだ」では10月9日、「変身グッズを作ろう！」のイベントが行われました。

娘の朱莉ちゃん（7カ月）と一緒にイベントに参加していた本間真理恵さんは「子育て支援室では色んな人から話を聞けるので、とてもありがたいと思う。パパにも今日作ったものを見せようね」と朱莉ちゃんに笑いかけていました。



子育て支援室のイベントを再開しています

問 伊奈庁舎こども課 ☎58 - 2111（内線4206）